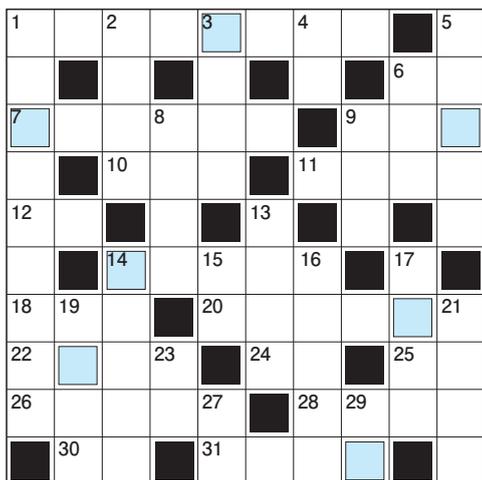


クロスワードタイム

クロスでリフレッシュ。新年度を新鮮な気持ちで迎えましょう。二重枠の文字を並び替えると答えが出ます。答え、郵便番号、住所、氏名、加盟組合、Compassの感想を記入し、はがきかメールでご応募ください。正解者の中から抽選で30名様にクオカードを贈呈します。

■ 〆切：5月26日(月) ■ 宛先：mail → info@nikkenkyo.jp はがき → 〒169-0075 新宿区高田馬場1-31-16 ワイム高田馬場ビル3F 日建協クロスワード係

ヒント：2025年に日本で開催される国際スポーツ大会です。



ヨコのカギ

- 1. 世界中の警察が協力して犯罪を防いだり、犯人を捕まえたりするための国際的な組織。
6. 運輸などの土器を作ることをつかさどった人のこと。
7. 自分の力では変えられない、未来に起こる不思議なつながりや出来事をカタカナで。
9. 高い山に登ると耳が変な感じになるのは、この力が弱くなるから。
10. プラトン哲学で、本当の姿や理想の形のこと。
11. 自分のことを格格式ばった、または上品な表現にした言い方。
12. 上るのが大変で、下るときに楽な斜めの道。
14. マスクや使い捨てのおしぼりなどに使われる、細かい繊維を絡めて作られたシート。
18. 青と黄色を混ぜるとこの色になる。
20. 光が物を通るときに、どれくらい曲がるかを表す数字。
22. 鹿児島県にある島の山の中で、とても長い時間をかけて育つ特別な木。
24. 「〇〇が良い」など、その人の意思や努力ではどうしようもない巡り合わせを指すこと。
25. 電車や新幹線が止まる場所。
26. 断面が細い三角形で、ドアのすき間に差し込んで固定する道具のカタチ。
28. お金の使い道や、買ったものの内容を書いた一覧。
30. 音楽で「ミ」の音を表すアルファベット。
31. あるグループやチームの中のひとりのこと。

タテのカギ

- 1. 南アメリカ大陸の西側に長く続く、とても大きな山々のこと。
2. あらかじめ決められていることや場所。
3. 南アメリカの川に住んでいる、とても鋭い歯を持つ魚。
4. 地面がゆるやかに盛り上がっていて、山ほど高くない場所。
5. フルーツを使って作られたアルコール飲料。
6. 物事の内容や状況をしっかりと理解すること。
8. 生き物の体の特徴を親から子へ伝えるための小さな設計図。
9. いつか起こることが良い結果になると信じて楽しみにすること。
13. 食べすぎたり、冷たいものをとりすぎたり、緊張やストレスでも起こります。
14. 上手に投げると遠くに飛ばせる、キャッチするのも楽しい、スポーツや遊びの道具。
15. 何かを手に入れたいと思う気持ち。
16. はっきりしていかないこと。よく見えなかったり、わからない状態。
17. 魚を竿で捕獲するために針につけるもの。
19. 国や組織などで、人やグループが強い力を持ち、支配すること。
21. 1か月に1回を略した言葉。
23. 1000の1000倍という意味で、データ量を表す単位の略称。
27. 縁起が良い高級魚として知られ、形を似せた焼き菓子もある。
29. 〇〇を踏むとは、終わりの音が揃っていて、リズムよく聞こえること。

Vol.835クロスワード 正解と当選

答えは「大阪万博(オオサカパンパク)」でした。

編集後記



多数のご応募ありがとうございました。当選者の方々にクオカードをお送りしました。

喜世美月(アサヌマ)、高橋和幸、高橋泰志(安藤ハザマ)、大橋永一、落合直己、俵本将臣、浜崎憲一、柗井康仁、宮本誠士、山中翔太(奥村)、青谷夏野、平田駿輝(鉄建)、鎌田 瞳、高田博人、千島孝太、都甲 慧、福田慶吾、堀江亮介(東洋)、軽部翔太、古賀良太、中野敬介、吉野 豊(戸田)、田中小夏(JS)、岡岡直美、庵住 綾、中村康美、安井敏夫(松村組)、谷本真由美(フジタ)、成戸道明(丸彦渡辺)、清水飛鳥(名工)

<敬称略>

春の訪れとともに、暖かな陽気が感じられる季節となりました。花粉症に悩まされる方々にとっては辛い時期ですが、外に出て季節の花を楽しむのも良いリフレッシュになるかもしれませんね。新年度が始まり、新たな環境で頑張る皆さんを心から応援しています。

さて、今号の機関誌「Compass」では、さまざまな特集をお届けしています。まず、海外企画「私のリフレッシュ方法大公開」では、海外で活躍する加盟組合員の皆さんがどのようにリフレッシュしているかを紹介しています。異国の地でのリフレッシュ方法は、日本とはまた違った視点やアイデアが満載で、新たな発見があることでしょう。

次に、ハラスメントについての特集では、職場でのハラスメント防止に向けた具体的な対策や、実際の事例を交えた解説を行っています。誰もが安心して働ける環境づくりのために、ぜひ参考にさせていただきたい内容です。

また、出前講座の特集では、各地で行われた講座の様子や参加者の声を紹介しています。建設産業のイマを学生に伝え、将来の産業を担うであろう学生の生の声を聞くことで、さらなる建設産業の魅力向上をめざして日建協活動を進めています。

機関誌「Compass」が、組合員の皆さんにとって有益な情報源となるよう、これからも努力してまいります。ご意見・ご感想をお待ちしておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

もや 船い

今日は待ちに待った休日だ。前日までの仕事の疲れを取り、遅く起床した私はベッドからベランダに移動し、カーテン越しから溢れんばかりの日差しを浴びる。こんな日は昼間からお酒を飲んでゆっくり過ごすのも悪くない。

さっそく、キッチン棚から常温に保管されたオールド・ファッションド・グラスを手に取り、テーブルに一旦置く。その後、前日までに仕込んでおいた大きめのブロック氷を冷凍庫から取り出す。この氷は、一度沸騰させて空気を抜き、冷ました軟水を冷凍庫でマイナス5度からマイナス10度程度で冷やしたものだ。それをアイスピックで満月のごとく丸い球体となるようひたすら削る。なぜ丸氷にするかって？それはブロック氷より表面積が小さくなり、よりグラスから氷が溶けにくくなるからだ。この丸氷をグラスに入れ、マドラーで適度に回しながらグラス全体を冷やす。

次は、ウイスキーの選定だ。常温に保管された我が家のウイスキーの中から、その時の気分にあわせて選ぶ。今日の私は「響」の気分。「響」とは、世の中に数多く存在する

ウイスキー種の中でも特に世界中のコアファンから高い評価を受けているサントリーを代表するジャパニーズウイスキーのひとつである。ちなみに、ジャパニーズウイスキー自体が作られ始めたのは1870年頃だが、この「響」の生産が始まったのは1989年と日本のウイスキー史の中でも比較的新しく、フルーティーな味わいが特徴的なウイスキーだ。

さあ、これで準備は整った。仕上げとして、選んだウイスキー「響」のコルクを「ポンッ」と抜き、「トクトク」とグラスにゆっくりと少量注ぎ、マドラーで優しくかき混ぜる。そして、ウイスキーに浸かった水が徐々に溶けることで奏でるハーモニーを聴きながら、ウイスキーをゆっくりと口から喉奥へ通して、味の変化を楽しむ。私にとって、この時間がここ最近で1番幸せを感じる瞬間だ。

これらはただの独り言に過ぎないが、ウイスキーの奥深い世界に足を踏み入れ、その魅力を存分に味わってみるのもたまには良い。きっと素晴らしいひとときが過ごせることだろう。(ウイスキーキャット)